



自制心をどう育てるか？

校長 羽田野庸史

5月28日(土)に行われた運動会には、たくさんのご来賓、保護者・地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。児童を含め、1648名の参加がありました。

今年度は、校庭に新校舎が建ち、児童数も増えた中での運動会でした。運営面でも、保護者の方に学年リボンをつけていただき、お互いに譲り合ってご覧いただくなどのご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、先月の学年だよりで、「食はすべての基本」というタイトルで、嫌いな食べ物にチャレンジすることは、子供たちが苦手なことや嫌なことにチャレンジしようとする気持ちを育てる第一歩ではないかと記しました。

実は、幼少期の自制心が将来の社会的成功度と相関関係があることを証明している次のような「マシュマロ実験」という有名な実験があります。

それは、4才の子供たちの目の前にマシュマロを1個だけ載せたお皿をそれぞれ置き、椅子に座らせます。実験者は、「マシュマロはあげるけど、私は用があるから、私が戻って来るまでの15分間、食べるのを我慢できたら、マシュマロをもう一個あげるよ。」と言って部屋を出ていきます。その結果、すぐにマシュマロを食べてしまう子供は、ほとんどいませんでしたが、最後まで我慢して2個目のマシュマロを手に入れた子供は約3割だったそうです。

そして、この子供たちをマシュマロを食べなかった子供と食べた子供にグループングして追跡調査した結果、大学進学適性試験での得点に明らかな相違が見られ、マシュマロを食べなかったグループは、将来、自分の就きたい職業に就いているなどの相関関係が見られました。

現在の子供たちを取り巻く環境は、自制心が育ちにくい環境にあります。家はもちろん、学校でも、暑い日も寒い日も空調の効いた部屋で過ごし、身近なところにペットボトルがあって、温かい飲み物は温かく、冷たい飲み物は冷たく、いつでも飲みたいものが飲めます。そして、昔は、ごちそうとして特別な日にしか食べられなかった食べ物が日常的に食べることが出来ます。電車の中でも子供が座っていて、親が立っている光景は珍しいものではありません。しかし、これらは子供たちには何の責任もありません。便利な生活を追求していった結果です。

私たち大人は、子供たちに嫌いな食べ物でもチャレンジさせたり、電車の中でもわざと立たせたりするなど、意図的に我慢せざるを得ない場面を子供たちに設けることで、「生きる力」を付ける必要があると思います。

6月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	水	安全指導 遠足(3・4年)	なし
2	木	児童集会 歯科検診(3・5年) 水泳事前検診(該当者) ファミリー給食・ファミリー遊び	4~6
3	金	安全教室雨天時指導(1年) いじめ対策委員会	2~6
4	土	日本文化の時間	なし
5	日		
6	月	委員会	なし
7	火	遠足(1・2年)	なし
8	水	よい歯の集会(4校時) 6年生観劇	なし
9	木	遠足(5年)	4~6
10	金	体力測定(1~3校時) 尿検査三次(区役所)	2~6
11	土		
12	日		
13	月	水泳指導開始 プール開き	4~6
14	火	体力測定(欠席児童対象、中休み)	3~6
15	水	モアレ検診(側わん症)(5年)	なし
16	木	音楽朝会 歯科検診(2・6年) 地域清掃(3・4年) 避難訓練(6校時集団下校)	なし
17	金	4年学区めぐり(5・6校時)	2~6
18	土	日本文化の時間	なし
19	日		
20	月	学校公開 E S C保護者会(15:30) セーフティー教室	4~6
21	火	学校公開 学校説明会(15:30)	3~6
22	水	自転車教室(3年)(3・4校時)	なし
23	木	体育朝会①	4~6
24	金	体育朝会② アカデミー研究授業	なし
25	土		
26	日		
27	月	クラブ	4~6
28	火	研究授業(6年)	3~6
29	水		なし
30	木	定期健康診断 フェスティバル準備	4~6

6月の生活目標

生活指導主任 三根 博喜

学校で出会った人たちに

気持ちのよいあいさつをしましょう。

いつも大きな声で元気にあいさつする人は、気持ちが前向きです。それは前向きな人が、元気にあいさつをするというだけではなく、あいさつを続けることで前向きになっていくからです。前向きで、気持ちのいい一日を始めるために、今日も元気なあいさつを心がけましょう。